

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

令和 年 月 日

湯前議会議長 金子 光喜 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	令和5年5月23日(火)～24日(水)
場 所	東京国際フォーラム(ホールA) / ホテルグランドアーク半蔵門
目 的	全国町村議会議長・副議長研修会 / 県選出国会議員への要望

報 告 の 内 容	1. 派遣内容 1.1 全国町村議会議長・副議長研修会 【場所】 東京国際フォーラム ホールA（千代田区丸の内3丁目5番1号） 【目的】 議会の重責を担う議長および副議長を対象に、住民の代表機関として町村議会が果たすべき役割の重要性や課題について研修を受講し、それぞれの議会の一層の活性化に資することを旨とする。 【研修】 ①演題「町村議会の課題と今後の展望」 講師 江藤 俊昭 氏 [大正大学社会共生学部教授] ②演題「町村こそデジタルを ～住民のためのデジタル活用法～」 講師 若宮 正子 氏 [NPO法人ブロードバンドスクール協会理事] ③演題「町村議会とハラスメント」 講師 三島 あずさ 氏 [㈱朝日新聞社コンテンツ編成本部次長]
	※講演内容を収録した動画を、議長会プレミアム(会員専用ページ)で後日配信予定。

1.2 県選出国会議員への要望（熊本県町村議会議長会主催）

〔場所〕

ホテルグランドアーク半蔵門

〔目的〕

県選出国会議員への要望（熊本県町村議会議長会主催）

〔出席された国会議員〕

西野 太亮 衆議院議員(熊本2区)、坂本 哲志 衆議院議員(熊本3区)、
金子 恭之 衆議院議員(熊本4区)、松村 祥史 参議院議員(熊本)、
藤木 眞也 参議院議員(比例代表)、
吉田 宣弘 衆議院議員(比例代表・九州ブロック) ※公明党

〔主な次第〕

①県議長会提出要望

②9郡からの提出要望(下益城郡、玉名郡、菊池郡、阿蘇郡、上益城郡、八代郡、芦北郡、球磨郡、天草郡)

③出席国会議員より挨拶・回答

④意見交換会

2. 所感

2.1 研修会

3つの講演の中で、特に地方議会とハラスメントに関心を持ちました。私たちの町議会には女性議員がいません。そのため、セクハラやマタハラについての関心が低いのではないかと思います。しかし、女性議員がいようがいまいが、執行部や町民には女性もいますので、日常的なハラスメントに対する知識は必要です。町民を代表する議員は模範となるべきです。

今後の議会活動では、ハラスメント研修など女性議員の数を増やすための取り組みを進めていければと考えています。

2.2 要望活動

主な要望内容は、道路インフラの整備でした。TSMCや阿蘇熊本空港など、城北ブロックには、社会資本整備総合交付金などの大規模な予算が割り当てられることが想定されます。熊本4区では、金子先生が自民党の道路調査会会長の立場にあるため、道路整備を進めていく必要があります。

緑の流域治水や治山・砂防、道路関連の各事業について、金子先生は「できることはやりたい」と回答されました。また、15兆円程度の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和3年度～7年度)」については、「町村会と議会が連携して、地方から声をあげてほしい」と述べられました。これらの予算は、できるだけ早く声を上げることが重要だと感じました。